

樹脂・プラスチック材料分析技術セミナー

～成形品の不良低減や再生樹脂の品質向上のための最新分析手法の御紹介～

最近、プラスチック製品の品質化により、製造プロセス全体にわたって品質管理と不良低減のための分析技術が重要視されています。さらに環境問題への意識の高まりから、プラスチックをリサイクルし再利用する動きが世界的に活発化しています。そこで本セミナーでは、プラスチック材料の品質評価やリサイクル材の特性評価をテーマに、蛍光分光光度計や熱分析装置を用いた最新の評価手法とその活用事例について解説します。御多忙中とは存じますが、皆様の御参加を心よりお待ちしております。

記

- 1 日 時 令和7年2月28日(金) 13時10分から17時00分まで(12時40分から受付開始)
- 2 場 所 地方独立行政法人岩手県工業技術センター 3階 中ホール
[〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-25 電話 019-635-1115 (代)]
- 3 主 催 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
- 4 共 催 株式会社日立ハイテクサイエンス、共立医科器械株式会社
- 5 後 援 高分子学会東北支部、日本化学会東北支部、プラスチック成形加工学会東北支部
- 6 内 容

| 時間 | 概要 |
|-------------|---|
| 13:10~13:15 | 開会、主催者挨拶 |
| 13:15~14:15 | 「蛍光光度計を用いたプラスチックの多変量解析(仮)」 講師：(株)日立ハイテクサイエンス アプリケーション開発センター・坂元 秀之氏 【概要】技術の進歩により蛍光光度計では蛍光指紋測定が身近となり、多変量解析と組み合わせることで様々な情報が得られます。本講演では測定のコツや多変量解析の方法に加えPETの紫外線照射時間による蛍光指紋への影響などプラスチックに関する測定事例をご紹介します。 |
| 14:15~15:15 | 「熱分析(DSC・TG/DTA・TMA)を用いたプラスチック評価(仮)」 講師：(株)日立ハイテクサイエンス アプリケーション開発センター・大久保 信明氏 【概要】熱分析は材料の熱物性評価において汎用的な分析法であり、研究開発や品質管理の目的で使われています。熱分析(DSC, TG/DTA, TMA)の測定原理から、汎用プラスチックおよびリサイクルプラスチックの品質評価事例についてご紹介します。 |
| 15:15~15:35 | 休憩・カタログ展示(20分) |
| 15:35~16:05 | 「熱分析+偏光顕微鏡オプションを用いた測定例のご紹介(仮)」 講師：(株)日立ハイテクサイエンス アプリケーション開発センター・大久保 信明氏 【概要】偏光顕微鏡機能付き高解像度カメラによる試料観察DSCは、新たな画像処理機能を開発したことで、DSCだけでは検出困難なフィッシュアイ等の微小部の融点解析を実現。微小領域の新しい熱物性評価法をご紹介します。 |
| 16:05~16:35 | 「岩手県工業技術センターにおけるプラスチック関連技術の研究紹介」 (地独)岩手県工業技術センター 機能材料技術部 主査専門研究員・村上 総一郎 【概要】当センターでは地域企業の基板技術力の強化と地域産業振興のため、研究開発と技術支援を行っています。ここではプラスチック分野における研究事例についてご紹介します。 |
| 16:35~17:00 | 閉会挨拶、個別技術相談 |

- 7 定 員 30名(定員になり次第、締切とさせていただきますので予め御了承ください。)
- 8 対 象 岩手県内製造関連企業、プラスチック関連業務に携わる方
- 9 受 講 費 無料
- 10 申込方法 裏面又は当センターホームページ掲載の参加申込書に必要事項を御記入のうえ、メール又はFAXにより下記担当宛お申込みください。申込締切：令和7年2月21日(金)

【担当】

岩手県工業技術センター 機能材料技術部 村上総一郎
電話 019-635-1115 (代表) FAX 019-635-0311
e-mail iiri-material@pref.iwate.jp